



<張 宇人 (トミー・チョン) >

国、地域：香港

年 齢：68歳

現 職：香港特別行政区行政會議非官守議員
香港特別行政区立法會議員（飲食界）
香港飲食業協會會長
香港日本食品と料理業協会名誉會長
香港食品評議員顧問
香港ワイン&スピリッツ産業連合会會長
香港中文大學評議員

○ 香港における日本食材の普及

- ・2011年東日本大震災の風評が残る香港市場に対し、「Love Japanese Food」キャンペーンを立ち上げ、香港の日本料理店に対する消費者の信頼を回復。現在も、日本産食材に対する輸入規制撤廃・緩和に向け熱心に働きかけ。
- ・2016年9月、香港人による日本産食材を扱う輸入業者及びレストラン関係者を取りまとめ「香港日本食品と料理業協会」を立ち上げ、日本食及び日本食文化の香港での輸出促進、拡大に寄与。

香港立法会における職能別選出枠の飲食業界からの初選出議員であり、2000年から現在に至るまで5期連続当選するとともに、香港内でも飲食業協会の創設者兼会長として、業界に影響を与える人物である。

2007年には、農林水産省主催の香港における日本産牛肉プロモーションイベントに香港政府の代表として出席し、日本の生産者に対して香港向けの輸出促進を呼びかけた。

2011年には、東日本大震災の風評が残る香港市場に対し、同氏は日本料理・日本産食品の安全性をアピールする狙いで「Love Japanese Food」キャンペーンを立ち上げ、キャンペーンに参加する日本料理店などは、4週間にわたって毎週水曜日を「半額の日」とし、地元の日本食レストランに対する消費者の信頼を取り戻す努力を行った。このキャンペーンが決め手となり、2011年4月の香港の日本食業界の売り上げが通常の半分にまで減少していたものを、わずか3ヶ月で6～8割にまで回復させた。また、今日においても、日本産食材に対する輸入規制撤廃・緩和に向け熱心に働きかけを行っている。

2016年には、香港人による日本産食材を扱う輸入業者及びレストラン関係者（約280店）をとりまとめ、香港において日本産食材を積極的に提供するために「香港日本食品と料理業協会（Hong Kong Japanese Food And Cuisine Association）」を立ち上げた。